

愛知橋橋梁修繕詳細設計業務特記仕様書

委託番号 令和 7 年度第 2066 号
委託業務名 愛知橋橋梁修繕詳細設計業務
業務場所 東近江市永源寺相谷町

第 1 章 総 則

第 1 条 (適用範囲)

本仕様書は、委託者である東近江市（以下「発注者」という。）が施行する橋梁修繕詳細設計業務に適用するものとする。

第 2 条 (目的)

本業務は、過年度に実施した橋梁施設 P C B 含有量調査業務において、補修対策（P C B 含有の塗膜除去）が必要であると位置づけられた橋梁を対象に補修対策工法（塗膜除去及び塗り替え）を検討し、補修対策工事に必要となる設計図面及び数量計算書の資料を作成することを目的とする。

第 3 条 (準拠法令等)

本業務の実施に当たっては、本仕様書のほか、以下の関係法令等に準拠して行うものとし、最新版を使用するものとする。

- 1 道路法 （国土交通省）
- 2 道路橋示方書・同解説 I ～ V （日本道路協会）
- 3 道路橋定期点検要領 （国土交通省）
- 4 橋梁補修設計マニュアル（案） （国土交通省近畿地方整備局）
- 5 橋梁修繕マニュアル （滋賀県土木交通部道路課）
- 6 鋼道路橋防食便覧 （日本道路協会）
- 7 道路橋支承便覧 （日本道路協会）
- 8 コンクリート標準示方書（維持管理編） （土木学会）
- 9 コンクリートのひび割れ調査、補修・補強指針ー2022ー（日本コンクリート工学会）
- 10 コンクリート診断技術 ’23 （日本コンクリート工学会）
- 11 土木工事数量算出要領（案） （国土交通省国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 社会資本システム研究室）
- 12 滋賀県土木設計業務等委託必携 （滋賀県土木交通部）
- 13 東近江市市道の構造の技術的基準を定める条例 （東近江市）

東近江市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準を定める条例
(東近江市)

14 土木工事標準設計図集 (国土交通省近畿地方整備局)

15 その他関係法令

第4条 (提出書類)

委託金額が 500 万円以上となる場合、受注者は測量調査設計業務実績情報サービス (TECRIS) の入力システムにより、(一財) 日本建設情報センター (JACIC) にデータ登録するものとする。登録には、業務契約時登録、業務完了時登録及び必要に応じて変更時登録があり、監督員の確認を受けて行うものとする。また、登録確認のため、同センターが発行する「TECRIS 受領書」の写しを監督員に提出するものとする。

第5条 (配置技術者)

本業務の管理技術者等は、以下に定める要件を満たすものとする。

なお、管理技術者及び照査技術者は兼務できないものとする。担当技術者について、以下の要件を全て満たす場合、設計業務と診断業務を兼務することができる。

(管理技術者)

技術士 (建設部門：鋼構造及びコンクリート) 又は総合技術監理部門 (鋼構造及びコンクリート)

(照査技術者)

技術士 (建設部門：鋼構造及びコンクリート) 又は総合技術監理部門 (鋼構造及びコンクリート)

(担当技術者 (設計業務))

技術士 (建設部門：鋼構造及びコンクリート)、総合技術監理部門 (鋼構造及びコンクリート) 又は R C C M (鋼構造及びコンクリート)

(担当技術者 (診断業務))

国土交通省登録資格 (公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者登録簿に登録されている資格) として、施設分野「橋梁 (鋼橋)」の業務「点検」かつ施設分野「橋梁 (鋼橋)」の業務「診断」に登録されている資格を有するもの

第6条 (身分証明書)

受注者は、本業務にて現地調査を実施するに当たり、発注者が交付する身分証明書を常に携帯し、住民等の請求があった場合はこれを提示しなければならない。

第7条 (報告の義務)

受注者は、常に発注者と密接な連絡を取り合い、業務の進捗状況を報告するものとし、必要に応じて報告書を提出するものとする。

第8条（資料の貸与及び返却）

本業務実施に当たり、発注者から貸与する資料は、以下のものとする。また、受注者は破損・紛失・盗難等の事故のないよう貸与資料を管理、取り扱うものとし、貸与期間等についても発注者の指示に従うものとする。

なお、発注者が必要とするときは速やかに発注者に一次返却するものとする。

- 1 しゅん工図書
- 2 橋梁台帳
- 3 定期点検調書（過年度点検実施）
- 4 その他関連資料

第9条（秘密の保持）

受注者は、本業務で知り得た事項を一切他人に漏洩してはならない。

第10条（事故等の処理、損害賠償）

受注者は業務遂行中に事故等が生じた場合は直ちに発注者に報告し、その指示を受けなければならないものとする。

なお、受注者の行為に起因して発注者及び第三者に損害を与えた場合及び紛糾が生じた場合は受注者の責任において解決し、損害賠償については受注者が負うものとする。

第11条（契約の変更）

本業務実施中に大幅な作業数量の増減や仕様の変更が生じた場合には、発注者と受注者協議の上、必要に応じて契約の変更を行うものとする。

第12条（成果品の帰属）

本業務における成果品は全て発注者に帰属するものとし、受注者は、発注者の許可なく使用してはならない。

第13条（疑義）

本特記仕様書の各項目について疑義又は定めのない事項については、発注者と受注者で協議の上決定するものとする。

第14条（履行期間）

本業務の履行期間は、令和8年3月19日までとする。

第2章 業務概要

第15条（対象橋梁）

本業務における対象橋梁は、別紙資料のとおりとする。

第16条（業務概要）

本業務における概要は、別紙資料のとおりとする。

第3章 業務内容

第17条（計画準備）

(1) 基本計画

本業務の目的・趣旨を把握し、業務実施のための基本方針・工程計画・作業体制等について検討した上で、業務計画書を作成する。また、業務に必要な資料収集、設計条件等の整理を行うものとする。

(2) 現地踏査

調査の基本計画を作成するために必要な現場の概況を踏査し、橋梁の周辺状況（交差する道路、架空、地下埋設物等）を取りまとめる。

(3) 補修箇所の抽出

貸与資料を基に塗替え範囲を抽出し、必要となる図面を作成する。

第18条（詳細調査）

試験項目、調査については別紙資料のとおり想定しているが、箇所数については現地踏査等で確認の上、協議により決定するものとする。

第19条（補修対策工法の検討）

補修工法（塗膜除去及び塗り替え）の比較検討を行い、経済性・施工性・耐久性・維持管理性等を十分に考慮し、最適な補修工法を選定するものとする。

なお、選定に当たっては地域特性や過去の施工実績にも配慮するものとする。

第 20 条（橋梁補修設計）

既存資料等によって得られた情報をもとに一般図を作成し、工事発注に必要な図面及び数量計算書を作成する。

第 21 条（施工計画）

補修工事を行うために、河川の渡河条件等を考慮し、計画工程表、施工順序、施工方法、資材・部材の搬入計画、仮設備計画等、施工方法の検討を行い、施工計画として取りまとめるものとする。

第 22 条（概算工事費の算出）

本業務で取り決めた補修対策工法について、概算工事費の算出を行う。また、根拠資料として、数量計算書の作成を行う。

第 23 条（照査）

照査技術者は以下に示す事項を標準として照査を行い管理技術者に提出するものとする。

- (1) 設計条件の決定に際し、現地状況・基礎情報等を収集・把握しているか。
- (2) 対策工法の選定結果の妥当性について照査を行う。
- (3) 設計計算、設計図、数量、適切性及び整合性に着目して照査を行う。
- (4) その他、照査技術者が必要と認める内容について照査を行う。

第 24 条（報告書作成）

業務の成果として、設計概要、設計条件、補修方針及び補修工法の検討結果、施工計画、概算工事費、施工時の留意点等を取りまとめた報告書を作成するものとする。

第 25 条（打合せ協議）

打合せ協議は着手時、中間報告時（１回）、業務完了時の計３回行うものとし、着手時と業務完了時については管理技術者が立会うものとする。また、発注者又は受注者が必要と判断した場合には、適宜協議を行うものとする。

第 26 条（電子成果品作成）

電子成果品作成には、印刷製本費の経費を含むものとする。

第 4 章 成果品

第 27 条（成果品）

報告書の製本は、A 4 版で 1 部とする。

1 本業務における成果品は業務委託必携成果品一覧表によるほか、電子成果品のデータとして図面類は d w g 形式、数量計算書等文書類は e x c e l 又は w o r d 形式にて C D で 1 部提出するものとする。

2 設計図面は A 3 サイズに作成したものを報告書に添付する。

(別紙資料)

第15条（対象橋梁）関係

橋梁名	橋長 (m)	幅員 (m)	構造形式	路下条件	点検	判定
愛知橋	62.0	5.7	鋼橋_ローゼ（アーチ橋）、逆T式橋台2基、その他（橋脚）2基	河川	R5	I

第16条（業務概要）関係

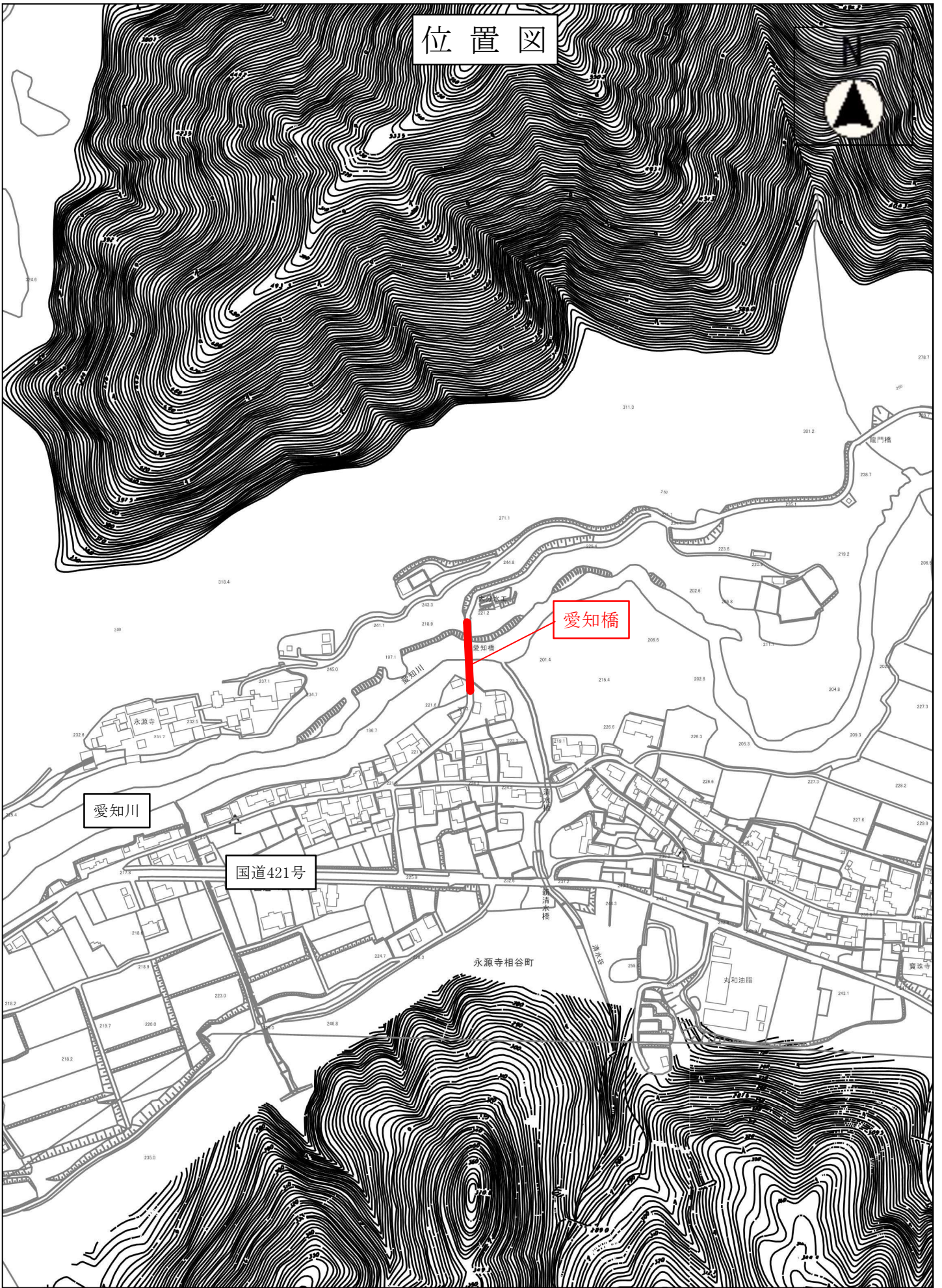
項目	数量					
	愛知橋					
計画準備（現地踏査含む。）	○					
補修工法の比較検討	○					
橋梁補修設計	○					
施工計画	○					
概算工事費算出	○					
報告書作成	○					
照査	○					
打合せ協議	○					

○：実施　—：不要

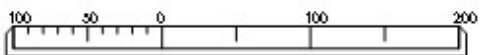
第18条（詳細調査）関係

試験項目	数量					
	愛知橋					
塗膜調査（PCB・鉛・六価クロム）	1箇所					
－塗膜採取・処分・復旧	1					
－含有量試験（PCB）	1					
－含有量試験（鉛及び鉛化合物）	1					
－含有量試験（六価クロム）	1					
－溶出試験（PCB）	1					
－溶出試験（鉛及び鉛化合物）	1					
－溶出量試験（六価クロム）	1					

※塗膜調査は、復旧作業を含む。



縮尺 1 : 5000



【参考資料】積算条件等明示書

入札契約過程における透明性および公平性を確保するため、参考までに積算条件を示すものであり、契約の履行を拘束するものではない。
従って、施工方法その他工事目的物を完成するために必要な一切の手段については、受注者がその責任において定めるものとする。

工事番号		
工事名		愛知橋橋梁修繕詳細設計業務
施工箇所		
単価適用年月		2025年 8月28日
歩掛適用年月		2025年 8月28日
施工地区		東近江土木事務所管内
単価補正	生コン	東近江土木事務所管内
	合材	
	石材	
	港湾石材	
	燃料	

橋梁修繕

細別	名称	A社	B社	C社	決定単価 (円)	積算コード/ 備考
直接人件費	計画準備(現地踏査含む)	280,300	370,600	780,710	477,000	
(愛知橋)	補修工法の比較検討	250,500	288,800	194,075	244,000	
	橋梁補修設計	573,250	622,050	258,440	484,000	
	施工計画	327,350	302,550	404,640	344,000	
	概算工事費算出	118,700	208,200	114,175	147,000	
	報告書作成費	212,950	292,450	184,425	229,000	
	照査	239,550	126,500	132,825	168,000	
	合計①	2,002,600	2,211,150	2,069,290	2,091,000	
共通直接人件費	打ち合わせ協議	-	-	-		基準書を準用
直接経費						
	詳細調査(愛知橋)	355,000	141,100	411,870	302,000	
	電子成果品製作費	-	-	-		基準書を準用
	旅費交通費	-	-	-		基準書を準用
合計	合計②	355,000	141,100	411,870		
総合計	①+②	2,357,600	2,352,250	2,481,160		

		A社	B社	C社	異常値除去平均 (円)	備考
愛知橋橋梁修繕詳細設計	総合計	2,357,600	2,352,250	2,481,160		

- 単価の決定方法について
- 見積金額の総合計について、平均値を中心に-30%(下限)~+30%(上限)を超えるものを異常値とする。
 - 工種ごとに徴取した見積(総合計が異常値の見積を除く)の平均値を単価として採用する。端数処理については以下のとおり
 - 単価の端数処理は、千円未満を切り捨てとする。

見積用

愛知橋橋梁修繕詳細設計業務 委託業務設計書

参考資料

本資料は、入札額を算定する際に参考とする資料であり、契約上の制約を有するものではない。

東近江市

参考資料

積 算 情 報

設 計 書 番 号	25-13-00-0142-0	設 計 者 名	
出 張 所 名	東近江市		
適 用 単 価	業 務	施 工 地 区	東近江土木事務所管内
歩 掛 適 用 年 月	2025年 8月28日		
単 価 適 用 年 月	2025年 8月28日		
適用単価 地 区	生 コ ン	東近江土木事務所管内	
	合 材		
	石 材		
	港 湾 石 材		
	燃 料		
適 用 工 種	(係数ランク 1)		

積算時想定業務期間	年 月 日 ~ 年 月 日 (日)
-----------	---------------------

業務概要一覧表

事業種別	工事箇所	水系・路河川名	橋梁名等
	東近江市永源寺相谷町		愛知橋

費 目	測量及び試験費	愛知橋橋梁修繕詳細設計業務
-----	---------	---------------

業 務 概 要	No	当 初	変 更
	1		
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		

設計内訳書

業務名	愛知橋橋梁修繕詳細設計業務			当 初	業 種 項 目	土木設計業務 橋梁設計			
	項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
	橋梁設計		式	1					
	橋梁修繕設計		式	1					
	橋梁修繕設計		式	1					
	計画準備		式	1					内-1号 P1
	補修工法の比較検討		式	1					内-2号 P1
	橋梁補修設計		式	1					内-3号 P1
	施工計画		式	1					内-4号 P1
	概算工事費算出		式	1					内-5号 P1
	報告書作成費		式	1					内-6号 P1
	照査		式	1					内-7号 P1
	共通		式	1					
	共通（設計業務）		式	1					

参考資料

設計内訳書

業務名	愛知橋橋梁修繕詳細設計業務	当 初	業 種 項 目	土木設計業務 共通				
項目・工種・種別・細別	規格	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
打合せ等		式	1					
打合せ		業務	1					単-1号 P1
直接経費		式	1					
直接経費		式	1					
旅費交通費		式	1					
旅費交通費（率計上）（設計）	旅費交通費の指定：滞在を伴わない	式	1					P1
電子成果品作成費		式	1					
電子成果品作成費（設計）	区分：概略設計、予備設計又は詳細設計	式	1					
詳細調査		式	1					
詳細調査		式	1					内-8号 P2
直接原価		式	1					
その他原価		式	1					

参考資料

一式当たり内訳書

第1号内訳書	計画準備						単価適用年月		20250828
							歩掛適用年月		20250828
							労務調整-超過-規制		1.000-00000020
名称		規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
直接人件費			式	1					R9S11 管理費区分 無 割増率 0%
合 計									

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

参考資料

一式当たり内訳書

第2号内訳書	補修工法の比較検討						単価適用年月	20250828	
							歩掛適用年月	20250828	
							労務調整-超過-規制	1.000-00000020	
名称		規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
直接人件費			式	1					R9S12 管理費区分 無 割増率 0%
合 計									

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

参考資料

一式当たり内訳書

第3号内訳書	橋梁補修設計						単価適用年月	20250828	
							歩掛適用年月	20250828	
							労務調整-超過-規制	1.000-00000020	
名称		規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
直接人件費			式	1					R9S13 管理費区分 無 割増率 0%
合 計									

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

参考資料

一式当たり内訳書

第4号内訳書	施工計画						単価適用年月	20250828	
							歩掛適用年月	20250828	
							労務調整-超過-規制	1.000-00000020	
名称		規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
直接人件費			式	1					R9S14 管理費区分 無 割増率 0%
合 計									

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

参考資料

一式当たり内訳書

第5号内訳書	概算工事費算出						単価適用年月	20250828	
							歩掛適用年月	20250828	
							労務調整-超過-規制	1.000-00000020	
名称		規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
直接人件費			式	1					R9S15 管理費区分 無 割増率 0%
合 計									

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

参考資料

一式当たり内訳書

第6号内訳書	報告書作成費						単価適用年月	20250828	
							歩掛適用年月	20250828	
							労務調整-超過-規制	1.000-00000020	
名称		規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
直接人件費			式	1					R9S16 管理費区分 無 割増率 0%
合 計									

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

参考資料

一式当たり内訳書

第7号内訳書	照査						単価適用年月		20250828
							歩掛適用年月		20250828
							労務調整-超過-規制		1.000-00000020
名称		規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減	摘要
直接人件費			式	1					R9S17 管理費区分 無 割増率 0%
合 計									

一式当たり内訳書

第8号内訳書	詳細調査						単価適用年月	20250828
							歩掛適用年月	20250828
							労務調整-超過-規制	1.000-00000020
	名称	規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	数量増減	金額増減
詳細調査			箇所	1				WYB00002 管理費区分 無
合 計								

上段から 既契約数量 / 出来高数量 / 出来高累計 / 前回残工事 / 今回残工事

参考資料

1次単価表

単-1号

単価適用年月	20250828
歩掛適用年月	20250828
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

名称	打合せ				業務	数量	1	単価	
規格					単位				
名称		規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要		
打合せ		中間打合せ回数 = 1回 :	業務	1			WS505501 管理費区分 無 単-2号		
計									
単価									

参考資料

2次単価表

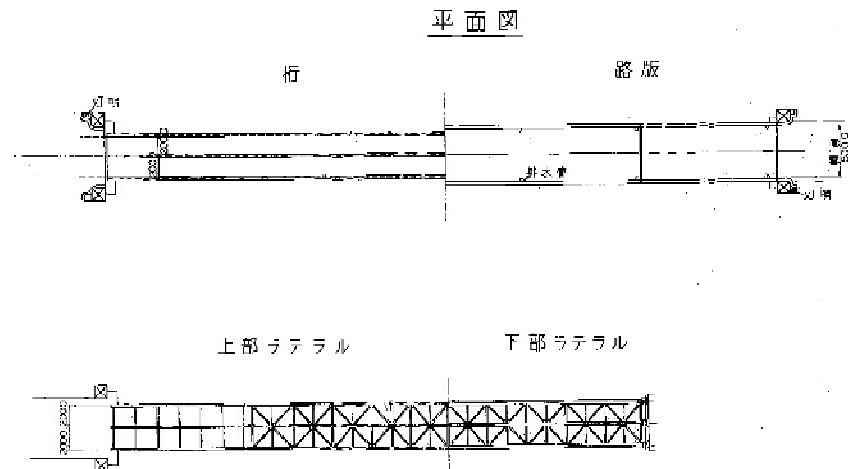
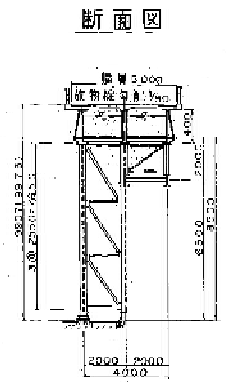
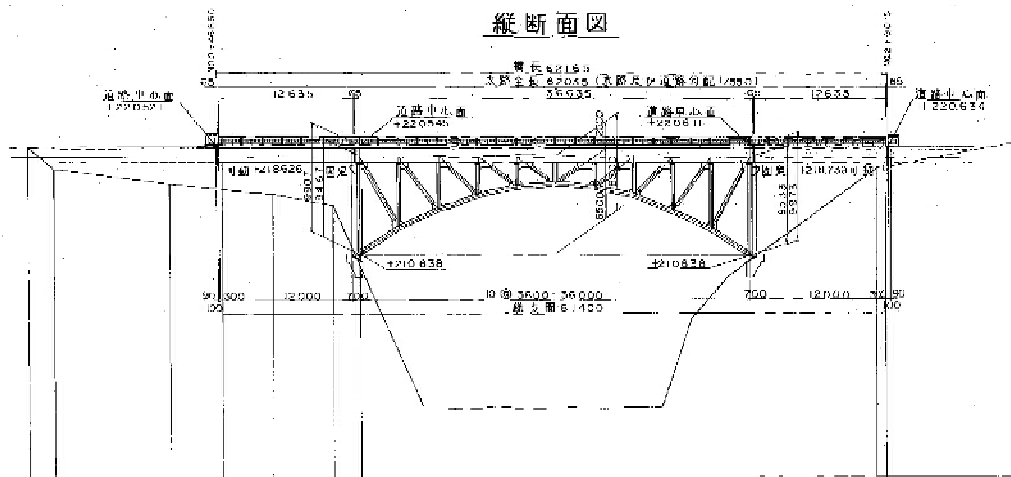
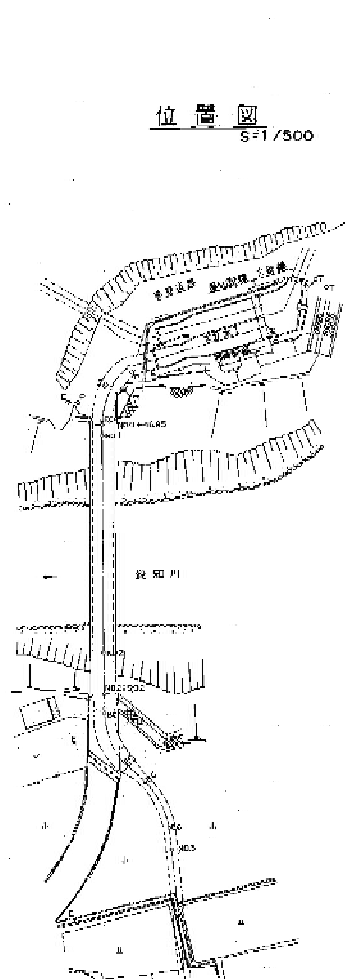
単-2号 WS505501

単価適用年月	20250828
歩掛適用年月	20250828
労務調整-超過-規制	1.000-00000020

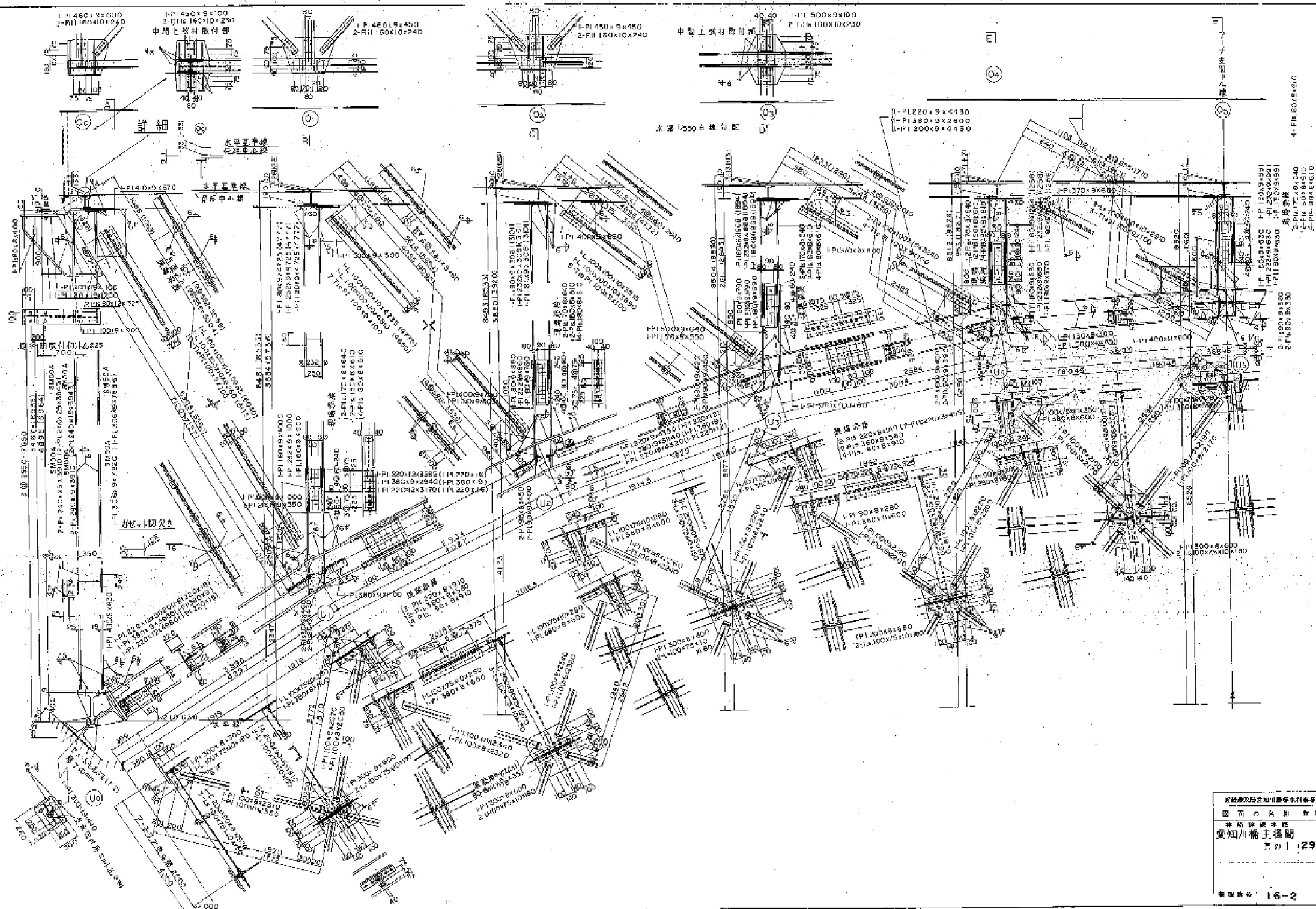
名称 規格	打合せ				単位	業務	数量	1	単価	
	1回									
名称		規格 / 条件	単位	数量	単価	金額	摘要			
主任技師			人				R0402 管理費区分 無 割増率 0%			
技師（ A ）			人				R0403 管理費区分 無 割増率 0%			
技師（ B ）			人				R0404 管理費区分 無 割増率 0%			
計										
単価										
J01 中間打合せ回数		1 回								

参考資料

愛知川橋設計図 其の一



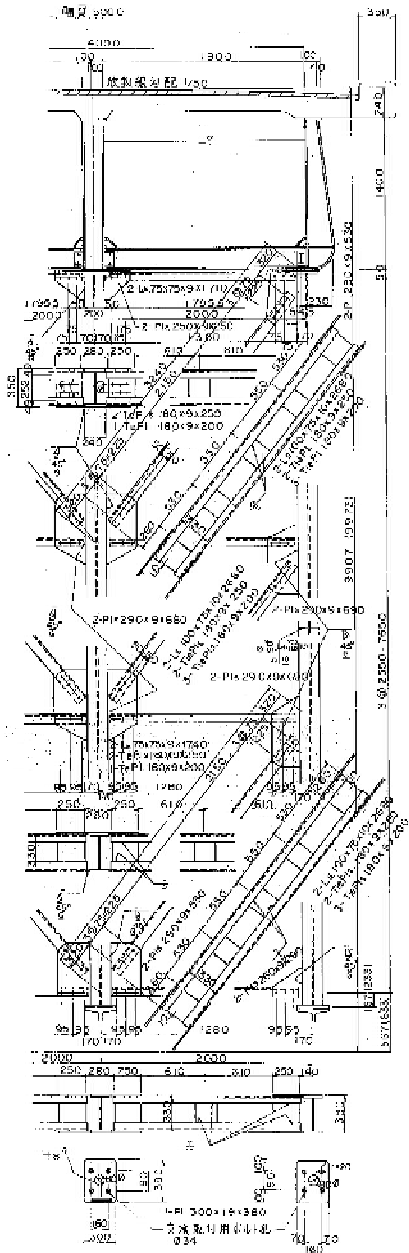
愛知川橋設計図 其の二 縮尺二〇分の一



愛知川橋設計図 其の二

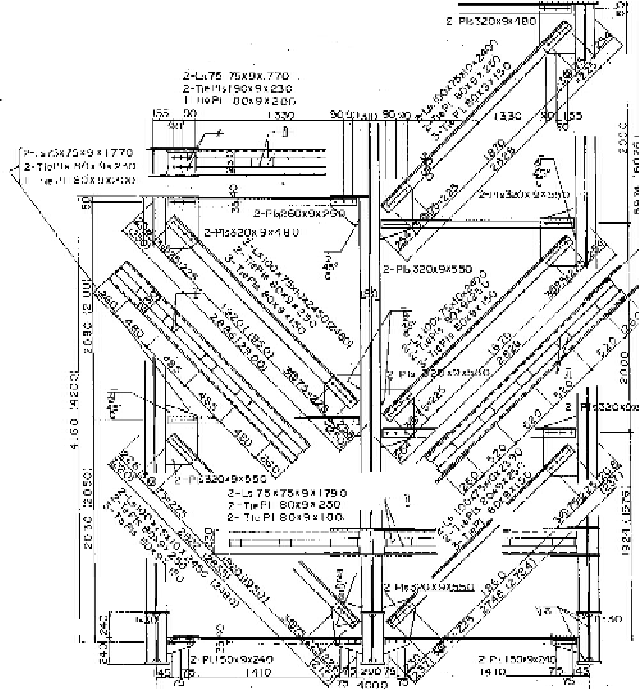
縮尺二〇分の一

A 断面

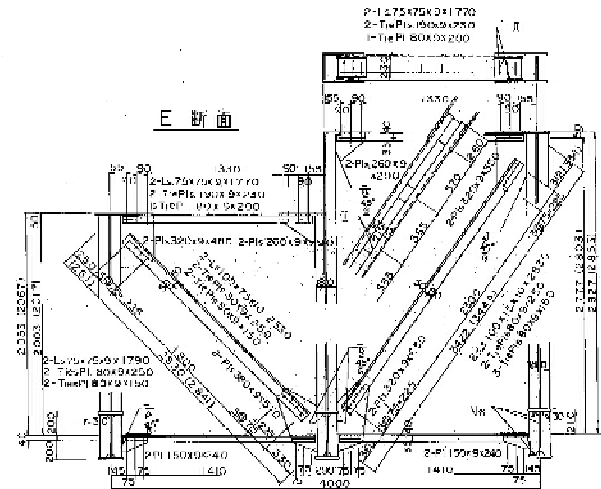


C 断面

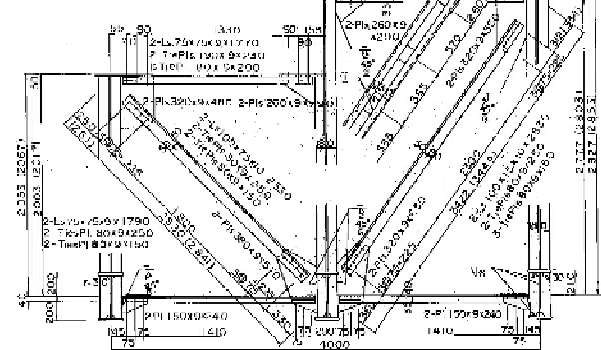
B 断面



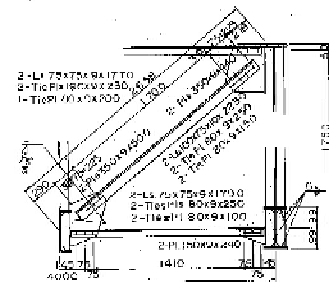
D 断面



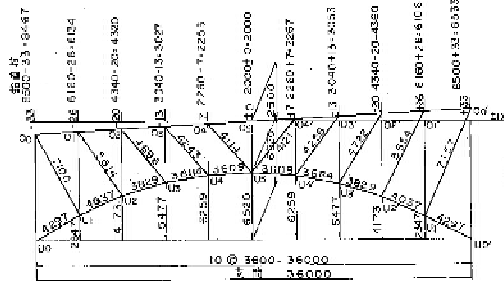
E 断面



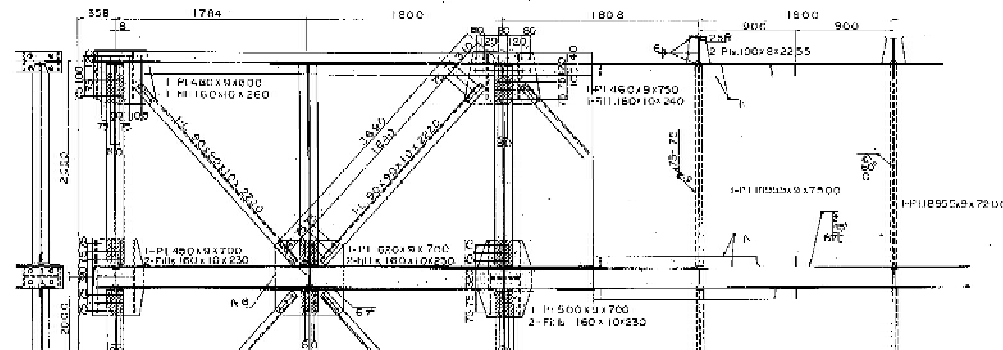
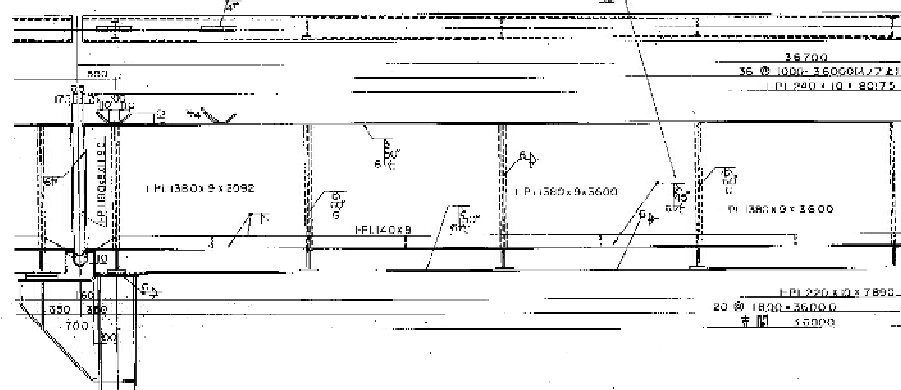
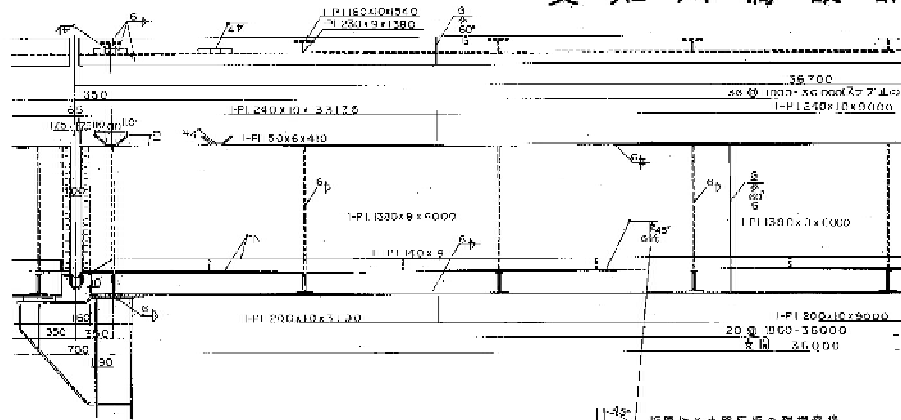
F 断面



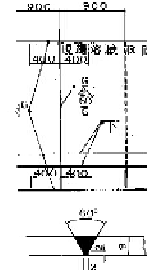
製作基準寸法図



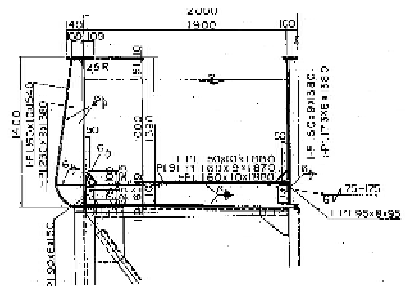
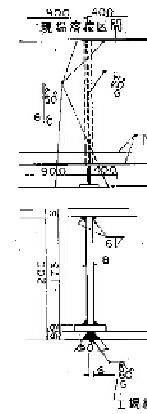
愛知川橋設計図 其の三



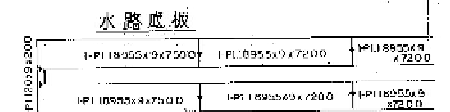
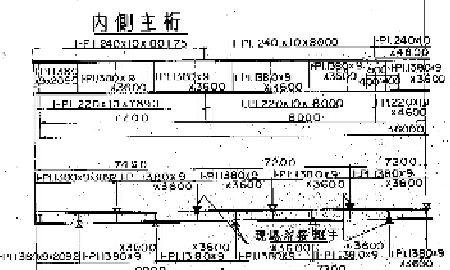
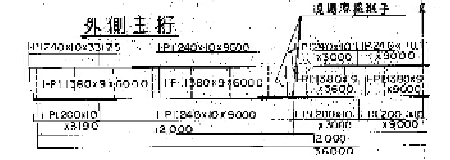
現場溶接継手



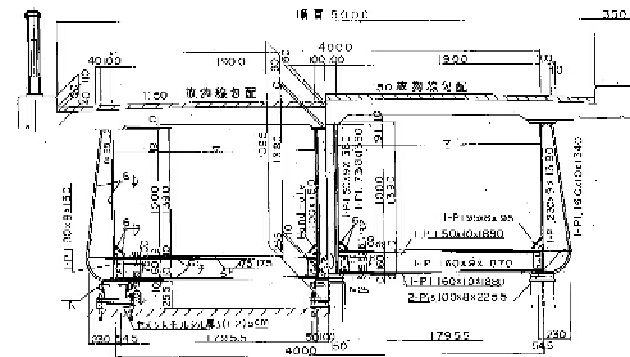
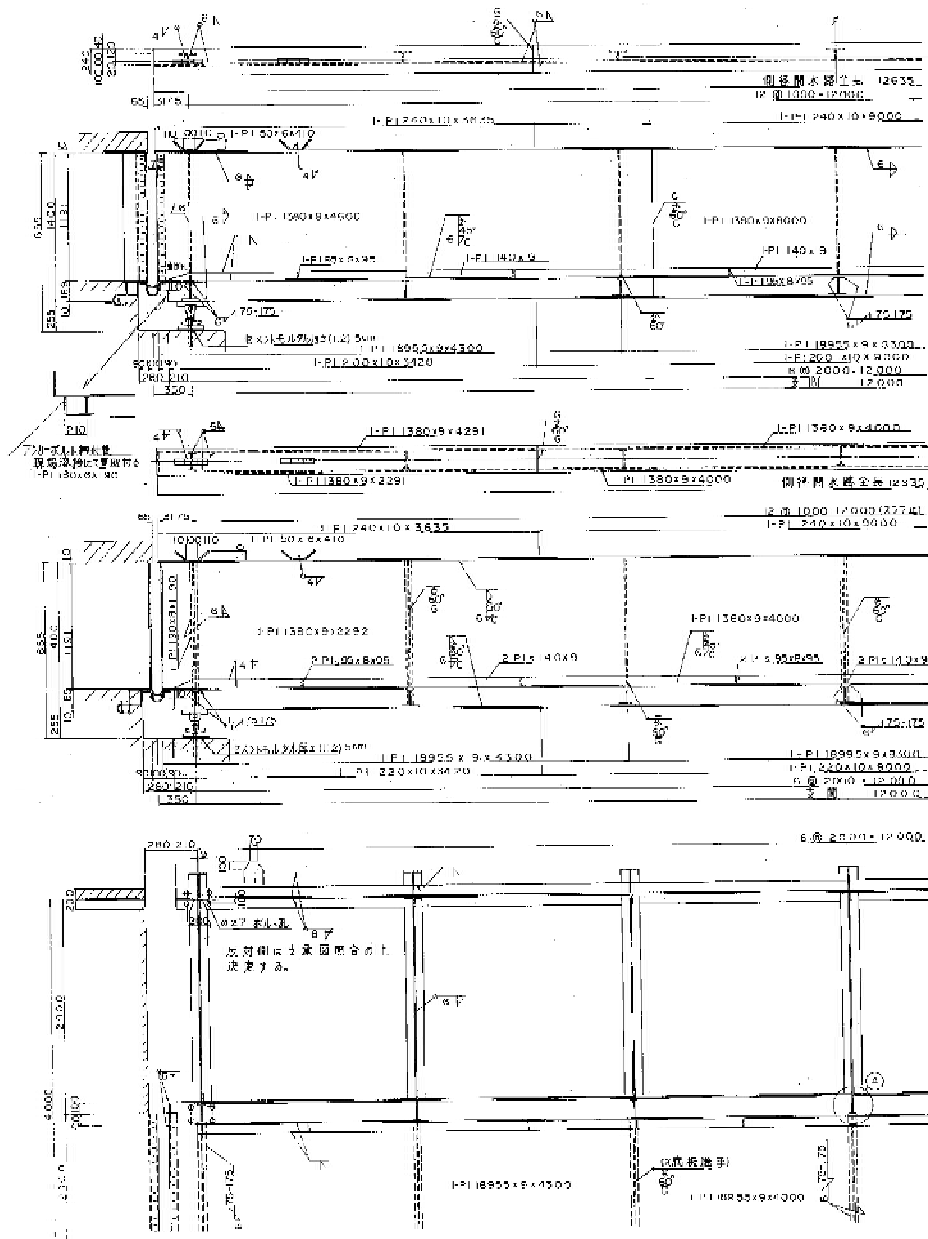
現場溶接継手



鋼材配置図



愛知川橋設計図其の四

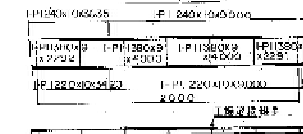


鋼材配置圖

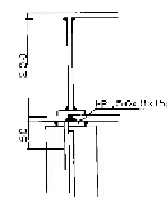
外側主桁



内側土留



④ 部 詳細

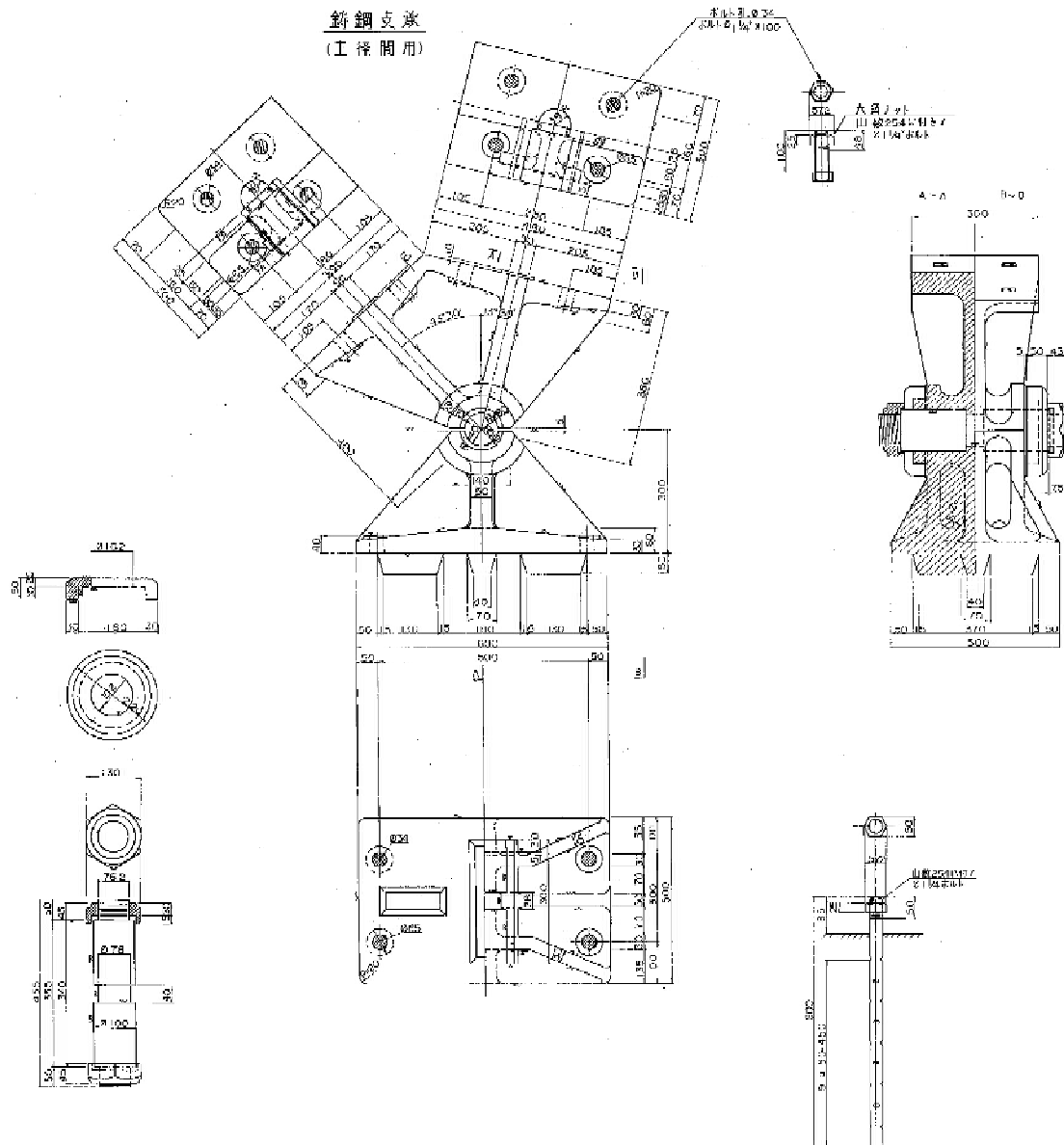


製作反り
(門正 監)

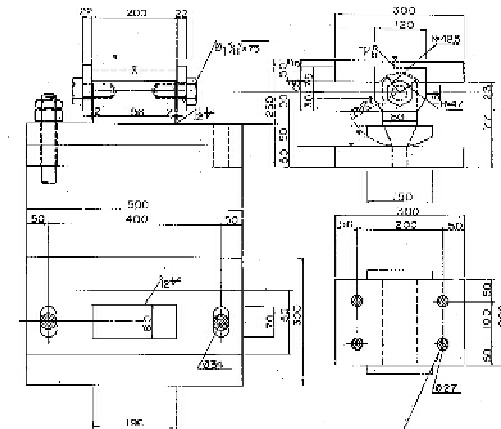


愛知川橋設計図 其の五

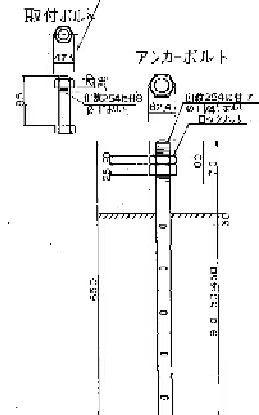
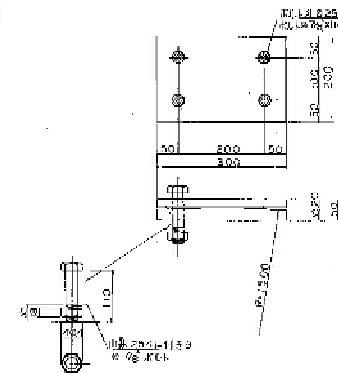
斜鋼支承
(工機間用)



橋台上可動支承



梁端部鋼板支承



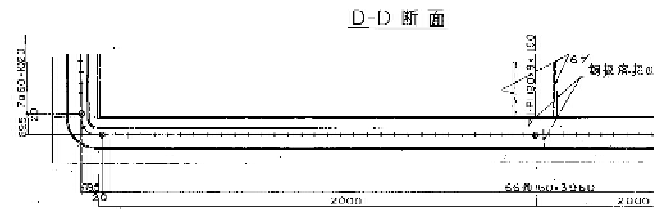
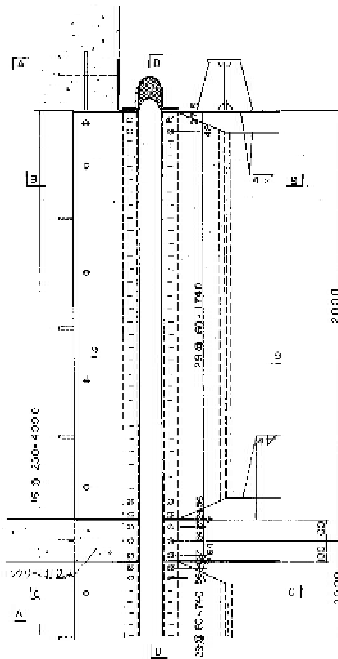
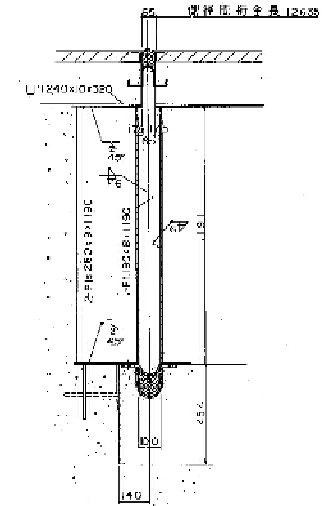
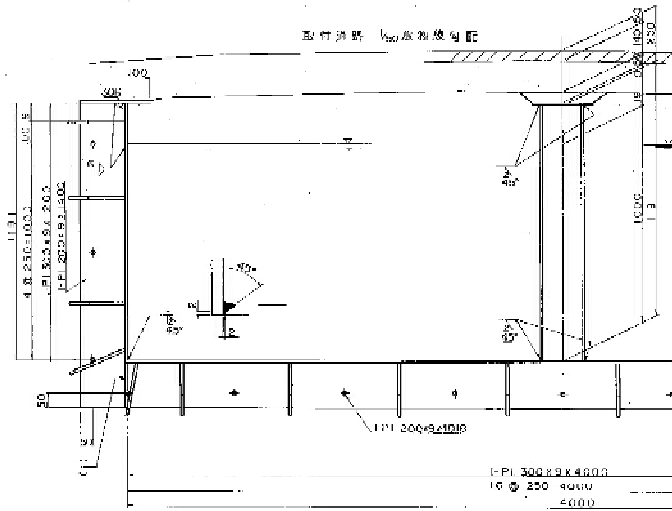
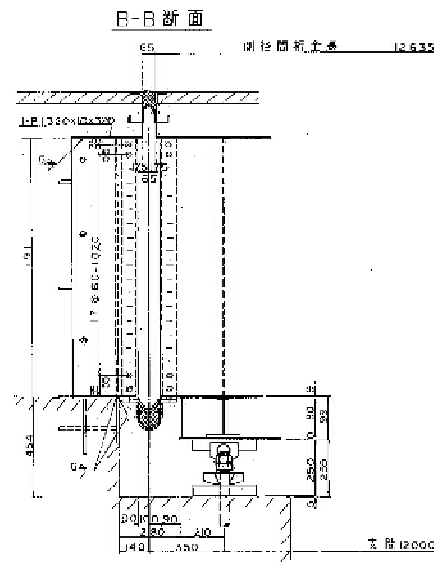
愛知川橋設計図 其の六

端伸縮継手取付用埋込み全物

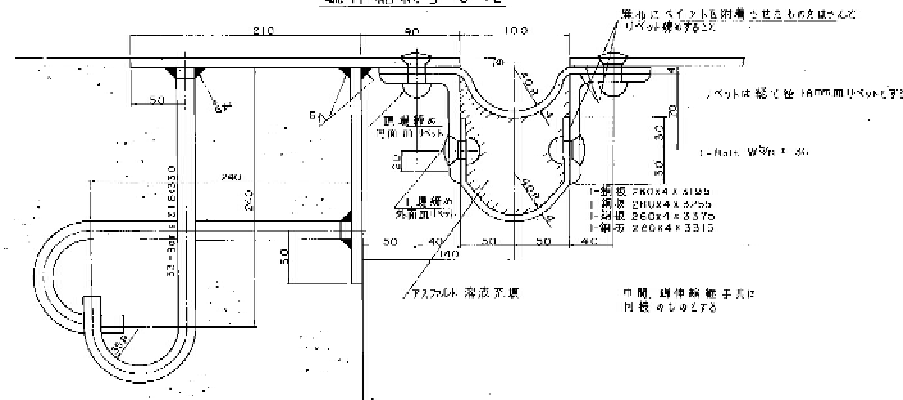
S=1/10

A-A断面

C-C断面



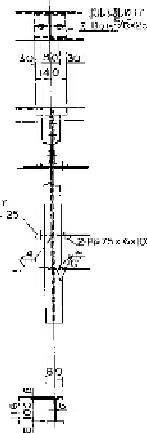
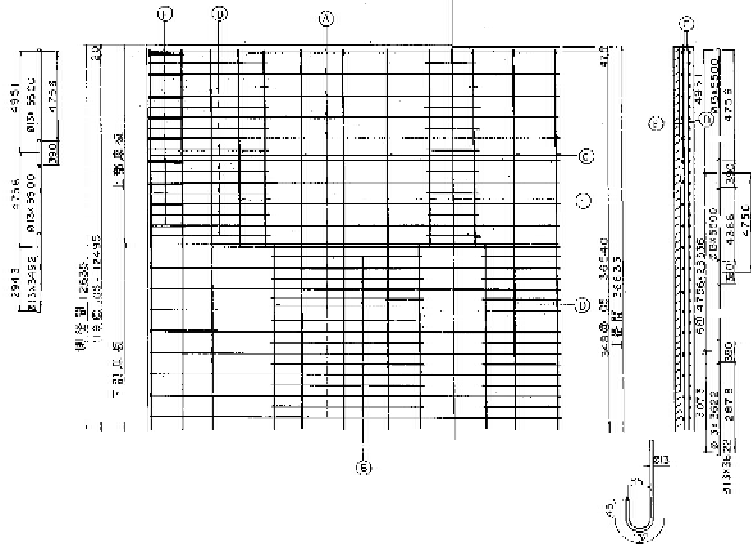
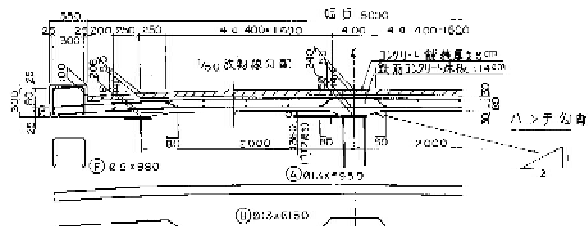
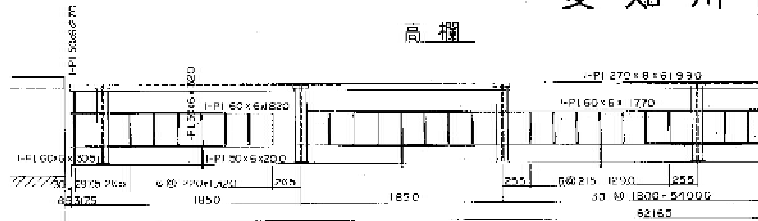
端伸縮継手 S=1/2



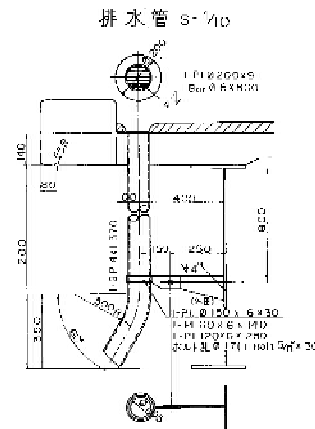
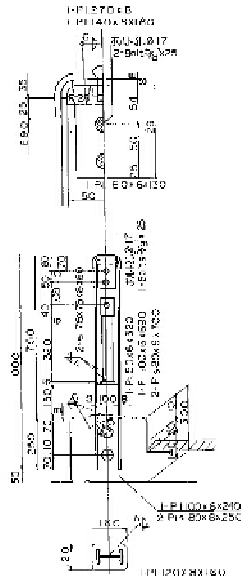
建設省河川橋梁設計規程
断面のとりかた
愛知川橋伸縮継手
取付用埋込み全物 296

愛知川橋設計図 其の七

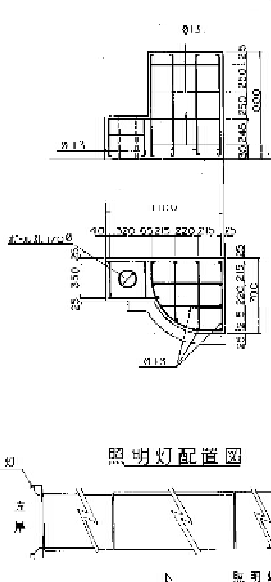
高欄



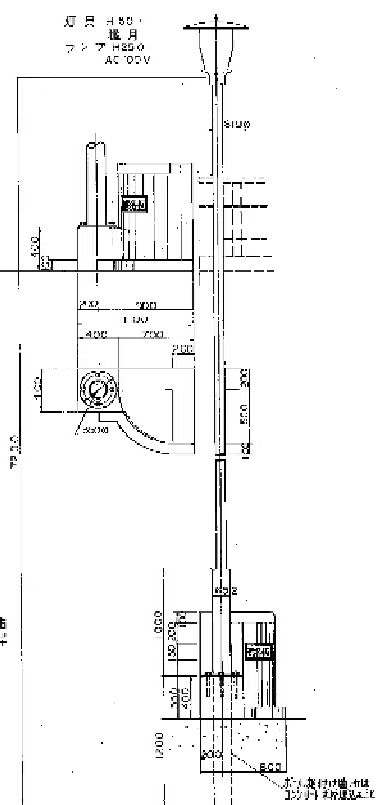
東柱



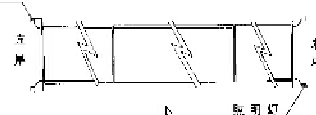
現柱及び照明灯



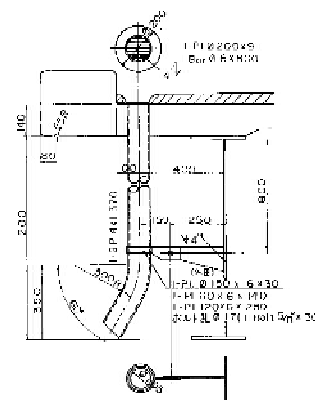
照明灯 S-1/20



照明灯配置図



排水管 S-7/10



- 1) 本図は、愛知川橋の設計図である。
- 2) 本図は、愛知川橋の設計図である。

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	35° 4' 51.47" 136° 19' 25.04"	橋梁ID
愛知橋 (フリガナ)エチハシ	市道ダム右岸線	東近江市永源寺相谷町				35.08096,136.32362
管理者名	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
東近江市	2023.11.8	河川:愛知川	有	一般道	その他	照明柱×1

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

定期点検者

正和設計株式会社_佐々木 勉

定期点検時に記録

応急措置後に記録

部材名	判定区分 (Ⅰ～Ⅳ)	変状の種類 (Ⅱ以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ				
	横桁	Ⅰ				
	床版	Ⅰ				
下部構造	Ⅰ					
支承部	Ⅱ	変形・欠損,土砂詰まり	写真1 支承本体0301,写真2 沓座モルタル0302			
その他	Ⅱ	破断	写真3～5 伸縮装置92、写真6,7 排水ます01,02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分Ⅰ～Ⅳ)

定期点検時に記録

(判定区分)	(所見等)
Ⅰ	床版に鉄筋露出、各鋼部材に防食機能の劣化及び、腐食が複数確認される。一部に進行もあり、新たに確認された損傷も複数確認されたが、いずれも軽微な損傷であり、道路橋の機能に支障が生じていない状態であると判断し、健全度Ⅰとした。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1964年	62m	5.7m
橋梁形式		
鋼橋_ローゼ(アーチ橋)、逆T式橋台2基、その他(橋脚)2基		

起点



終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。